aruba a Hewlett Packard Enterprise company × NetAttest EPS × UNIADEX

独自のセキュリティとデジタル認証で より強固な無線LAN環境を実現する

スマートデバイスの普及にともない、あらゆる企業で無線LANネットワークは当たり前になりつつある。さまざまな端末がアクセスする環境においては、利便性だけでなく不正アクセスなどからネットワークを守る高いセキュリティ機能が必須となる。

課題	提案	解決
無線LAN環境には高いレベルでの安全性確保が不可欠	Arubaのソリューションと NetAttest EPSを組み合わせた 無線LAN環境を構築する	デジタル証明書による端末認証で 利便性の高い無線LAN環境に 高いセキュリティ機能をプラスする

無線LANにさらなる安全性を

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスが急速に普及したことで、ビジネスにおけるスマートデバイスの利用も飛躍的に増加してきた。通信スピードの高速化によって利便性も格段に上がっており、無線LAN環境は公共機関や小売店のみならず、一般企業の社内ネットワークにおいても当たり前のものとなりつつある。

しかし、多くのスマートデバイスがアクセスする無線LANネットワークにおいて、これまで一般的だったIDとパスワードによる認証のみで、確実な安全性を確保するのはほぼ不可能に近い。利便性の高いネットワーク環境を構築するのはもちろんだが、外部からの不正アクセスや内部からの情報漏えいを防ぐためのハイレベルなセキュリティ機能も必要不可欠となる。

ネットワークインフラの提案から導入、保守、運用までを一気通貫でサポートするユニアデックスは、米Hewlett Packard Enterprise社が提供するAruba Networksブランドのアクセスポイントやコントローラーで、幅広いユーザーのニーズに合わせた無線LANソリューションを構築。さらに、多彩なネットワーク認証機能を持つソリトンシステムズの「NetAttest EPS」を組み合わせることで、高い安全性を兼ね備えたネットワーク環境を実現する。

セキュリティへのこだわり

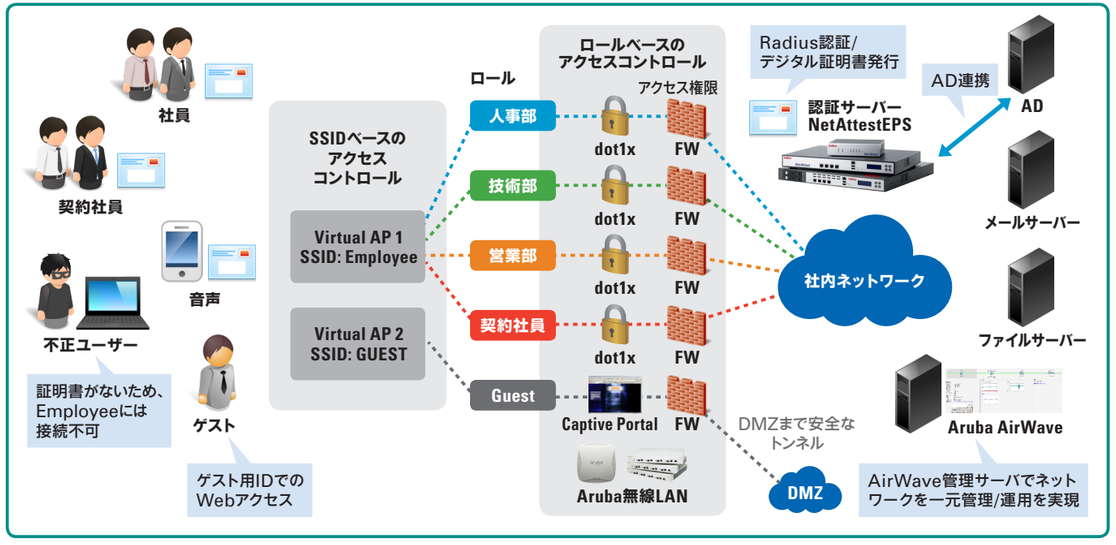
Arubaはもともと無線LAN関連のプロダクトを専門としていたベンダーだったことから、セキュリティに対する意識は非常に強い。そのような背景から、セキュリティに特化した製品をラインナップしているのがひとつの特徴。アクセスポイントやコントローラーにはモバイルファイアウォールを内蔵し、他社にない独自のやり方で高いセキュリティを確保している。

さらに、近年ではこのモバイルファイアウォールにプラスしてDPI（Deep Packet Inspection）エンジンを内蔵。IPアドレスだけでなくアプリやOSを判別することで、さまざまなアプリやOSに応じたセキュリティや帯域制御などを設定できる。例えば、社員が利用している複数のアプリから特定のアプリだけを優先して制御したり、マイクロソフトの「Skype for Business」において音声やビデオの利用帯域を優先させたりできるほか、Windows XPなど古いOSのみをアクセス不可にすることも可能になる。パブリックユーザーの利用が想定される大学や病院はもちろんだが、社員のスマートデバイス利用が増えている一般企業の社内無線LANネットワークにおいても、必要なユーザーに必要な利便性を提供できる幅広い仕組みが今後は必須となるはずだ。

通信の利便性を上げる機能としては、アクセスポイントの負荷を分散する「Client Match」を搭載する。この機能はArubaが特許を持つ独自技術を採用しており、アクセスポイントの電波を自動的に調整することで、1つのアクセスポイントに負荷が集中することを防いでくれる。移動しながら通信するスマートフォンを、よりつながりやすい最適なアクセスポイントに誘導することなども可能となるため、スマートデバイスの利用が多い場所などでは威力を発揮する。

aruba a Hewlett Packard Enterprise company × NetAttest EPS × UNIADEX

Arubaの無線LANソリューションとNetAttest EPSシリーズで構築したセキュアな無線LAN環境のイメージ



セキュリティを特徴とするArubaの無線LANネットワークソリューションだが、多くのスマートデバイスがアクセスする現在のネットワーク環境でより高い安全性を確保するには、デジタル証明書によるデバイス認証が不可欠といえる。このデジタル認証機能を追加し、セキュリティ機能をさらに強固なものとするのがソリトンシステムズの「NetAttest EPS」だ。

NetAttest EPSは、デジタル証明書を発行・運用するプライベートCA機能を標準で搭載し、社内のネットワークにアクセスする端末を厳重に管理できるネットワーク認証アプライアンス。デジタル証明書はアクセスしている端末が許可されている端末かどうかを認証する重要なデータで、このデジタル証明書を持たないスマートフォンやタブレット端末はアクセスしてもネットワークの入口でブロックされる。通常のIDとパスワードによる利用者認証にこのデジタル証明書でのデバイス認証をプラスすることで、不正なユーザーや端末によるネットワークへの侵入を厳重に防止するわけだ。さらに、シャドーITによる社内からの不適切なアクセスを抑制するほか、スマートデバイスのさらなる活用を実現するBYODへの対応などにも大きな効果を発揮する。

また、ソリトンシステムの「NetAttest D3」を組み合わせると、無線LANネットワークソリューションのIPアドレス管理はより快適なものになる。NetAttest D3は、DHCPとDNSに特化した専用アプライアンス。ネットワークにアクセスしてくるスマートデバイスへ自動的にIPアドレスを割り振ることで、ネットワークの柔軟な拡張性を実現する。もちろん、フリーアドレスを実施しているオフィスにも有効だ。

[お問い合わせ先]
ユニアデックス株式会社
電話：03-5546-4900
問い合わせフォーム：https://www.uniadex.co.jp/cgi-bin/form/form-s.cgi
URL：http://www.uniadex.co.jp/

UNIADEX